



*hhcの文字は、
フローレンス・ナイチンゲールの
サインから取り出したものです。

Eisai News

エーザイは「患者さまと生活者の皆様の喜怒哀楽を考え、そのベネフィット向上を第一義とし、世界のヘルスケアの多様なニーズを充足する」ことを基本とするヒューマン・ヘルスケア企業を目指して、その実現に邁進しています。

No. 08-33

2008年5月16日

エーザイ株式会社

エーザイ ASCO 年次総会で 16 報の最新知見を発表

エーザイ株式会社（本社：東京都、社長：内藤晴夫、以下エーザイ）は、がん領域を重点領域と位置づけ、基礎・臨床試験を活発に展開しています。2008年5月30日から6月3日まで米国シカゴで開催される「第44回米国臨床腫瘍学会（American Society of Clinical Oncology、以下 ASCO）年次総会」において、当社のがん領域製品およびパイプライン化合物に関する臨床データなど16報の発表が受理されたのでお知らせします。

当社の発表は、市販中の製品から開発中の化合物まで多岐にわたり、転移性乳がん、肺がん、卵巣がん、脳腫瘍、中皮腫、膵がん、骨髄異形成症候群などのほか、がん治療中の患者様への支持療法について発表する予定です。

当社社長の内藤晴夫は、「当社のがん領域における強いコミットメントが、パイプラインの進展という重要な成果につながってきていると考えています。がん領域でグローバルなリーダーとなるという当社の方針は、未だ満たされていない医療ニーズを充足し、患者様とご家族のベネフィットを向上させるという当社のヒューマン・ヘルスケア理念を反映するものです」と述べています。

今学会で採択された発表は以下の16報です。

化合物・製品	抄録の内容	発表日時、場所
MORAb-003 (farletuzumab) 抄録番号：5500	初回再発においてプラチナ製剤に感受性がある卵巣がんを対象とした MORAb-003 (葉酸受容体 に対するモノクローナル抗体) の予備的なフェーズ 有効性試験 オーラル・プレゼンテーション	2008年6月1日 16:30~16:45 場所 S406 (ピスタルーム)
E7080 抄録番号：3526	進行性悪性腫瘍患者を対象とした E7080 のフェーズ 試験 ポスター番号 3 Foundation Merit 賞を受賞	2008年5月31日 8:00~12:00 場所 W375E ロビー ポスター討論 12:00~13:00 場所 W375A

エーザイ株式会社

コーポレートコミュニケーション部
〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
TEL 03-3817-5120 (ダイヤル)
FAX 03-3811-3077

化合物・製品	抄録の内容	発表日時、場所
E7080 抄録番号：3527	進行性固形腫瘍患者における E7080 のフェーズ 用量 漸増試験およびバイオマーカー解析 ポスター番号 4	2008年5月31日 8:00～12:00 場所 W375E ロビー ポスター討論 12:00～13:00 場所 W375A
皮膚 T 細胞性リンパ腫 抄録番号：8551	皮膚 T 細胞性リンパ腫 (CTCL) を対象とした 3 つの大 規模フェーズ 試験の総合解析 ポスター番号 45A	2008年5月31日 8:00～12:00 場所 S ホール A1
MORAb-003 (farletuzumab) 抄録番号：5517	進行性上皮性卵巣がんを対象とした MORAb-003(葉酸 受容体 に対するヒト化モノクローナル抗体)のフェー ズ 試験 ポスター番号 7	2008年5月31日 14:00～18:00 場所 S403 ポスター討論 17:00～18:00 場所 S406 (ビスタールーム)
ALOXI® (パロノセトロン 塩酸塩) 抄録番号：9617	幹細胞移植前に高用量メルファランを投与した患者を 対象とした、化学療法により生じる悪心・嘔吐に対する パロノセトロン (PALO) の予防効果の検討 ポスター番号 46B	2008年5月31日 14:00～18:00 場所 S ホール A1
GCPII 阻害剤 抄録番号：9558	化学療法により末梢神経毒性を来したラットモデルに おけるグルタミン酸カルボキシペプチダーゼ II 阻害の 検討 ポスター番号 37A	2008年5月31日 14:00～18:00 場所 S ホール A1
E7820 抄録番号：3568	進行固形腫瘍患者を対象とした E7820 とセツキシマブ 併用フェーズ 試験 ポスター番号 24G	2008年6月1日 14:00～18:00 場所 S ホール A1
MORAB-009 抄録番号：3578	中皮腫、膵臓がんおよび卵巣がんを対象とした MORAb-009(メソセリンに対するモノクローナル抗体) のフェーズ 試験 ポスター番号 27C	2008年6月1日 14:00～18:00 場所 S ホール A1
eribulin mesylate (E7389) 抄録番号：1084	アントラサイクリン、タキサンおよびカペシタピンによ る治療歴のある局所進行 / 転移性乳がん患者を対象と した eribulin mesylate (E7389) のフェーズ 試験 ポスター番号 38A	2008年6月2日 14:00～18:00 場所 S ホール A1

化合物・製品	抄録の内容	発表日時、場所
進行乳がん 抄録番号：1064	転移性乳がんに対する現在および今後の治療評価における癌専門医と患者の役割：観察言語学的研究 ポスター32B	2008年6月2日 午後2時～6時 場所 S ホール A1
DACOGEN® (decitabine) 抄録番号：7032	Decitabine の 5 日間連続投与の新投与レジメンに関する多施設フェーズ 試験：骨髓異形成症候群患者の種々のサブグループを対象とした有効性の解析 ポスター番号 21	2008年6月2日 14:00～18:00 場所 E450A ポスター討論 17:00～18:00 場所 E354A
DACOGEN® (decitabine) 抄録番号：7030	骨髓異形成症候群患者を対象とした decitabine の 5 日間投薬スケジュールによる細胞遺伝学的効果 ポスター番号 19	2008年6月2日 14:00～18:00 場所 E450A ポスター討論 17:00～18:00 場所 E354A
ALOXI® (palonosetron HCl)	シスプラチンまたはアントラサイクリンとシクロホスファミドの併用をベースとする化学療法レジメンに伴う悪心・嘔吐 (CINV) に対する、パロノセトロンまたはグラニセトロンにデキサメタゾン併用による予防効果の検討。日本人患者を対象としたフェーズ 3 試験 (本試験は大鵬薬品工業株式会社がヘルシン・ヘルスケア SA の支援を受けて実施したものです。palonosetron HCl の日本における販売権は大鵬薬品工業株式会社が保有しています。)	論文発表
ALOXI® (palonosetron HCl)	化学療法に伴う悪心・嘔吐 (CINV) に対する経口または静脈内投与パロノセトロンとデキサメタゾン併用療法による予防効果の検討	論文発表
GLIADEL® Wafer (polifeprosan 20 carmustine 埋め込み型)	新たに多形性膠芽腫または未分化星状細胞腫と診断された成人を対象とし、外科手術、Gliadel Wafer および限定的放射線療法にテモゾロミドを併用した後、補助療法としてテモゾロミドを投与した治療	論文発表

当社は 1987 年よりがん領域の研究を開始し、多くの低分子抗がん剤候補を発見し、開発を進めています。この研究基盤に加えて、米国でがん領域の総合的な事業基盤を確立し、本格的な参入を果たすため、戦略的な 3 つの買収を行いました。2006 年 10 月、Ligand Pharmaceuticals より皮膚 T 細胞リンパ腫などの治療剤 4 品目の製品買収とがん領域スペシャリストの移籍によって抗がん剤ビジネスの基礎を獲得しました。2007 年 4 月の Morphotek, Inc. の買収により、重要な抗体技術と抗体治療薬パイプラインを得ました。そして、2008 年 1 月の MGI PHARMA, INC. の買収によって、がんとその支持療法における、研究開発や事業化能力、パイプライン、製品ポート

フォリオの拡大を実現し、強固なビジネス基盤を確立することができました。

当社は、がん患者様の未だ満たされない医療ニーズに対して、患者様の希望につながる新たな治療薬を提供するため邁進してまいります。

以上